

医学部支部定期総会開催報告 2026 年度運動方針・予算採択される

7月31日、医学部支部は東病棟12階セミナー室2にて、2026年度定期総会を開催しました。
開会挨拶で石原支部長は「7月28日に発生した熊本地震直後の開催となり、葛藤はあったものの、組合活動を進めるためには予算承認を伴う定期総会の開催が必要となるため開催を決断した。実りある総会となるよう、活発な議論をお願いしたい」と呼びかけました。

引き続き、来賓の山本執行委員長は「総会は一年間の活動を振り返り、今後の運動方針を確認する重要な場だ。先日の地震をはじめ災害への対応などから、職員が安心して働ける環境づくりの重要性を感じた。病院経営の厳しさは理解するが、人材確保や処遇改善、適切な人員配置などを病院と協議しながら取り組んでいく。また、組合は病院と対立することを目的とするのではなく、病院をより良くするという共通の目的のもとで、組合員の声を病院へ届け、安心して働ける職場づくりを進めていく」と挨拶されました。

同じく来賓の清水書記長は「医学部支部は組合員数が最も多い支部で、その力を生かして病院職員の待遇改善を進めていきたい。特に、2025年度末に休止となった病院職員特別手当については、現在も復活の提案が病院側から示されていないが、本部としても手当の復活を最重要課題の一つと位置付け、遡及支給も含めて要求していく方針であり、そのためには組合員が一致団結して病院側へ声を届けていくことが重要だ」と挨拶されました。

議長には、執行部が推薦した村上佳名さんが拍手にて承認され、議長は初めに、総会に関する規約を説明、出席者と委任状の合計数から総会が成立していることを確認しました。

四役が報告・提案した議案について質疑応答後、全ての議案が承認、採択されました。

また、元島書記長より熊本地震の影響により、取り組み内容の変更や災害見舞金について今後検討していくとの説明がありました。

質疑応答の内容は次の通りです。ご出席いただいた皆様、おつかれさまでした。

***第一号議案** 2025 年度活動報告 元島 2025 年度書記長より報告
2025 年度決算報告 元島 2025 年度書記長より報告
2025 年度監査報告 畠山会計監査委員より報告

質問 決算(議案書 p. 8)の繰越金 4,545 円となっているが、残高 812,315 円が繰越額ではないのか。

答弁 執行率を明確にするため繰越額全額を収入に含めず、必要額のみ計上しているため、残高としている額は予算-執行額の差額となる。今後は分かりやすく表記する。

質疑応答後拍手にて承認

***第二号議案** 2026 年度運動方針 元島書記長より提案
採択 反対 0 保留 0 賛成 4 (議長を除く)

***第三号議案** 2026 年度予算 串間副支部長より提案
採択 反対 0 保留 0 賛成 4 (議長を除く)

<医学部支部の基本方針>

1. 長く働き続けることができる職場環境の確立、及び豊かな生活を営むための労働条件の改善をめざします。
2. 教育、研究、医療を行なうため十分な職員を配置するための増員をめざします。
3. 給与、手当などの改善に積極的に取り組みます。
4. レクリエーション活動を通して部署、職種を超えた組合員相互の親睦を深めます。
5. 過半数組合の実現をめざし、組織拡大に積極的に取り組みます。
6. 執行委員会ならびに、専門部会、職種別部会の強化を図ります。
7. 他団体との集会、会議などに必要に応じて参加し交流を深めます。



執行委員長挨拶



議長・医学部支部四役・本部来賓



会場の様子

7月28日に発生しました令和8年熊本地震により、被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興、被災された皆様が平穏な生活を取り戻されることを心よりお祈り申し上げます。

今回の地震発生に伴い、9月12日に予定しておりました日帰りバスハイクは開催中止となりました。楽しみにされていた皆様には大変申し訳ありませんが、ご了承ください。

今後の取り組みについては、組合ニュース等でお知らせします。

組合ニュース	No. 3	熊本大学教職員組合医学部支部	
	2026. 8. 20	内線 5858 メール m-kumiai@kumamoto-u. ac. jp	